

平成 30 年度（少年少女）神奈川県国体予選 実施要項

◎ 候補選手について

下記の (A)・(B)・(C) に該当する選手（最大 16 名）を国体候補選手とする。

(B) は、該当校の監督推薦を受け強化委員会で承認されたものとする。(C) については推薦選手(いない場合も含め)を決定してから選考する。

- (A) 総体個人予選ベスト 4 [4 名]・関東個人予選ベスト 4 [4 名]
- (B) 総体団体予選上位 2 校より 2 名、3 位校より各 1 名 [6 名]
- (C) 過去の大会を総合的にみて、実力十分と認めたもの [0～6 名]

◎ 推薦について

(A)・(B) の候補選手より、該当者がいた場合は次の手順で決定する。

- ① 強化普及部長・国体担当で原案を出し、強化委員会で選考する。
- ② 強化委員会の決定を受け役員会で承認する。
- ③ 選考会の前に国体選手として決定する。

◎ 選考試合について

- ・開催日時 7 月 1 日（日） 9：00 集合
- ・会場 神奈川県立旭陵高等学校 体育館

推薦がない場合

- ・国体候補選手を（最大 16 名）を 2 つのグループでリーグ戦を行い、それぞれ上位 2 名を国体選手として決定。それぞれのリーグの 3 位選手を決定戦により 1 名を決定し国体選手とする。

推薦があった場合

- ・推薦 1 名の場合、国体候補選手を（最大 16 名）を 1 次リーグとして 2 つのグループでリーグ戦を行い、それぞれ上位 2 名を国体選手として決定。推薦 2 名以上の場合は、上記の予選方法に準じて行う。

◎ 試合時間・順位決定について

- ・試合時間は 4 分。勝負が決しない場合は時間を区切らずに延長して勝負を決する。
- ・順位は勝数により決定する。選手決定の順位が複数になる場合は、2 名の場合は一本勝負による決定戦、3 名の場合は一本勝負による巴戦（1 人が 2 連勝）による決定戦、4 名以上の場合は一本勝負によるトーナメント戦で決定する。
- ・次点の選手を補欠とする。本人の意思を確認し状況によって補欠決定戦を実施する。
- ・不測の事態が起こった場合は、専門委員長の権限で決定する。
- ・審判は指名審判とする。